



- 永代共養墓について
- ぶつぐら雑記ブログ
- 真言宗について
- 金剛院イベント情報
- 金剛院 建築計画
- しいなまち・みとら
- 唱えてみよう!
- 仏教一年生
- 金剛院News
- メールを送る
- こんごういんキッズ!
- たいけんしてみよう!
- まんが小坊主くん!
- 金剛院について
- おすすめリンク集
- メディアで紹介
- 東京お寺めぐり
- ぶつぐらグッズ
- 金剛院の四季
- バックナンバー
- ほほほのれしび
- ふしぎな密教法具
- 地図・アクセス
- サイトマップ

 検索

## エッセイ 仏教一年生

- 第37回 [「智の器」としてのお寺の面白さ](#)
- 第36回 [日食メガネと雨男](#)
- 第35回 [東日本大震災一周年に想うこと](#)
- 第34回 [インドマジックで被災地に笑顔を「2」](#)
- 第33回 [インドマジックで被災地に笑顔を「1」](#)
- 第31回 [井戸の話](#)
- 第30回 [五筆和尚伝説](#)
- 第29回 [縁の下をささえる人々](#)
- 第28回 [日本人、最高!](#)
- 第27回 [人間と占い](#)
- 第26回 [空海さんの謎](#)
- 第25回 [私の知らない私](#)
- 第24回 [記憶と感情](#)
- 第23回 [美人病にかかる\(後編\)](#)
- 第22回 [美人病にかかる\(前編\)](#)
- 第21回 [四億年の引きこもり](#)
- 第20回 [年齢を隠したがる人たち](#)
- 第19回 [若い時の苦労は買ってでもしろ](#)
- 第18回 [子離れの季節](#)
- 第17回 [35年目の回窓会](#)
- 第16回 [不老不死のお酒](#)
- 第15回 [アンチエイジング](#)
- 第14回 [女子力不足](#)
- 第13回 [仏のレッスン](#)
- 第12回 [母と子をつなぐ道](#)
- 第11回 [座敷わらし](#)
- 第10回 [夢のお告げ](#)
- 第9回 [犬に引かれて](#)
- 第8回 [生まれ変わり](#)
- 第7回 [お葬式の意味](#)
- 第6回 [不思議なご縁](#)
- 第5回 [生きるための勇氣](#)
- 第4回 [祖母の形見](#)

# 仏教一年生

山田真美・著



作家、日印芸術研究所言語センター長の山田真美さんの連載です。

[プロフィール紹介](#)

## 第9回 犬に引かれて

BI 0 チェック いいね! 0 Tweet

あれは、今から5年と10か月前のことでした。夕方、買い物しようとして街を歩いていて、ふと、いつもと違う道を歩いてみたくなったのは。

その日に限って、なぜ別の道を歩きたくなったのか。理由は今もってわかりません。けれども気がついたとき、私の足は勝手に信号を渡って、いつもとは反対の道を歩き出していました。

しばらく行くと、一軒の小さなペットショップが見えてきました。間口が狭く、飾り気もなく、うっかりすると見過ごしてしまいそうな店構えです。歩道に面したガラスのショーケースの中で、モコモコ動く小さな生き物が見えました。黒目がちの大きな瞳がふたつ、何かを訴えるように一生懸命に私を見えています。

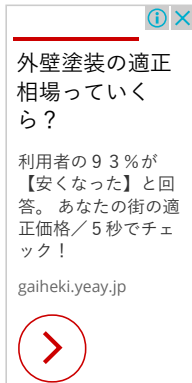
瞬間、胸がドキッとして、気がついたとき私はショーケースに駆け寄り、ガラスに貼りつかんばかりに近づいて中の生き物を見つめていました。生き物とは言えば、こちらに向かって必死な様子で走りだしたかと思うと、顔面からガラスにぶつかって転んでしまいました。目の前にガラスがあることを忘れるなんて、かなりドジなやつのです。

それはコロコロと太った、とても元気そうな仔犬でした。仔犬と私はガラス越しに、時間を忘れて見つめ合いました。あのときの気持ちを、何と表現したらいいのでしょうか。「やっと会えたね」という言葉が、思わず口をついていました。自分が、まるで小さな子どものようにドキドキしているのがわかりました。

それから、どこをどう歩いて家に帰ったか記憶がありません。家族に言わせると、その日の私は「それまで見たこともないような顔をして」帰宅したそうです。覚えているのは、家族全員の前で「私、犬を飼うことにしたから。止めてもムダだから」と藪から棒に宣言したことと、あきれ返ったように驚いている皆の顔です。

「それで、何という種類の犬なの? 性別は?」といった家族からの質問には、何ひとつ答えることができませんでした。そういう情報は当然ショーケースの上に書いてあったはずなのに、私はガラスの中の仔犬に夢中で、そのほかのことは何一つ見ていなかったの

- [第3回 ありがとうの輪](#)
- [第2回 お釈迦さまのお顔](#)
- [第1回 算数と仏教](#)
- [仏教一年生 山田真美・著](#)



す。お店の名前や電話番号さえメモしてこない有り様なのですから、我ながら呆れます。

その日はもう遅かったので、一晩中まんじりともせずにご過ごし、翌朝一番でペットショップを訪ねました。それでようやく、ガラスケースの中の仔犬が生後2か月のシーズーの男の子だとわかったのです。

犬種が何であろうと、「絶対に飼う」と決めた気持ちに変わりはありませんでしたが、その子がセントバーナードやドーベルマンのような大型犬でなかったことは幸いでした。というのも、当時住んでいた家はビルの最上階で、大型犬を飼うにはあまりにも手狭でしたので。

とは言え、仔犬が実はとてつもない大型犬だと言われれば、私はおそらく新しい家を探して引っ越していたことでしょう。それほどまでに、私はその犬に惚れてしまったのです。

こうして我が家にやって来た仔犬は、「ブースケ」と名づけられました。おかしな名前と思われるかも知れませんが、その少し前に出版したばかりの『ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦』という本がちょうどベストセラーになっていましたので、記念にその名前を付けたのです。仔犬は鼻がペチャンコで、仔豚のように丸々と太って可愛らしかったので、ブースケという名前はピッタリでした。

ブースケがうちへ来たことには、何か特別な意味が秘められているのではないかと。そう思うようになったのは、ブースケを生まれて初めての散歩へ連れて行ったときでした。

初めての散歩の日、私は公園へと続くルートを歩こうとしたのですが、小さなブースケはなぜか嫌がって四つ足を踏ん張り、私が手綱を引いても頑として動こうとしないのです。あまりに強情なので、本人が行きたがるほうへ自由に行かせてみたところ、一目散に走って行って、たどり着いた先は、観音さまで有名なとあるお寺でした。

この日だけでなく、ブースケは次の日も、そのまた次の日も、来る日も来る日も公園へのルートを拒絶して、なぜか観音さまのあるお寺ばかりを目指すのです。小さな体を震わせて全力で駆けて行き、お寺の前までたどり着いてしまうと、あとはただゴロゴロ転がったり、抱っこをねだるなどして、散歩への興味は失せてしまうようなのでした。

長くなるので詳しい話は端折(はしよ)りますが、実は、ブースケの散歩でこのお寺へ行くようになったことがそもそもの縁で、後に私はチベット仏教を勉強するようになるのです。少なくとも、私が本格的に仏教の勉強をしようと思った最初のきっかけは、このときのブースケの散歩にあったのです。

犬に引かれて仏教に目覚めるとは、まあ不思議なことだったものですが、もっと不思議なことには、シーズーという犬種は、もとをたせばチベットの「ラサ・アプソ」という犬の血統なのだそう。

もしもあの日いつもと違う道を歩いていなければ、私がペットショップでブースケと逢うことはなく、そうすると、私がチベット仏教に興味を持つことも、高野山大学に入ることも、ひょっとしたら永遠になかったのかも知れません。

はじめにブースケをひと目見たとき、なぜあれほど強く惹きつけられたのかという点や、ブースケを買ったあのペットショップが、それからじきに犬の販売をやめてしまった事実など、総合的に考えれば考えるほど、ブースケとの出逢いは尋常ではない、何か特別なご縁だったように思えてならないのです。

あれから5年と10か月。ブースケは今月で6歳になりました。もしもブースケが言葉を理解できるのなら、私にはぜひ尋ねてみたいことがあります。「ねえ、ブースケ、あなた本当は

ただの犬じゃなくて、何か特別なメッセージを持ってやって来た使者じゃないの？ 一体、誰から頼まれたの？」と。

言葉がしゃべれたら、一体、ブースケは何と答えるのでしょうか。

彼は今、私の足もとで大の字に転がって、大きないびきをかきながら幸せそうに眠っています。



ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦

山田 真美

幻冬舎

[このアイテムの詳細を見る](#)

◀ [第8回 生まれ変わり](#) [第10回 夢のお告げ](#) ▶

## 山田 真美（やまだ・まみ） プロフィール紹介

作家、日印芸術研究所言語センター長。密教学修士（高野山大学）。現在、お茶の水女子大学大学院博士課程後期在学中。1960年長野市生まれ。明治学院大学卒業後、ニュー・サウス・ウェールズ大学（豪）でマッコウクジラの回遊を研究。その後インド政府の招聘でヒンドゥー神話を調査研究。1996年より6年間ニューデリー在住。

主な著書にダライ・ラマ法王へのインタビューも収録した『死との対話』、ベストセラーとなった『ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦』など。

訳書に第二次世界大戦の秘史を扱った『生きて虜囚の辱めを受けず』。

長年にわたりインドを日本に紹介してきた功績を認められ2007年、インド国立文学アカデミーより世界で3人目となるドクター・アーナンダ・クマラスリミ・フェローシップを受ける。

財団法人日印協会理事。日本文化デザインフォーラム、日本蜘蛛学会、宇宙作家クラブ会員。国立天文台広報普及委員会委員。

山田真美 公式ホームページ：<http://www.yamadamami.com/>



ペットの保険料、簡単チェック⇒

月々990円からで、手術費90%補償だから3年連続No1のペット保険 ipet-ins.comへ進む



① ×

[▲このページの先頭へ](#)



[永代供養墓 密厳霊塔](#)

[しいなまち みとら](#)

[こんごういんキッズ](#)

[メディアで紹介](#)

[ぶつぶつ雑記ブログ](#)

[唱えてみよう!](#)

[たいけんしてみよう!](#)

[東京お寺めぐり](#)

[ばばばのレシピ](#)

[真言宗について](#)

[仏教いちねんせい](#)

[まんが 小坊主くん!](#)

[ぶつ仏クイズ](#)

[ふしぎな密教法具](#)

[金剛院イベント情報](#)

[金剛院NewS](#)

[金剛院について](#)

[金剛院の四季](#)

[地図・アクセス](#)

[メールを送る](#)

[おすすめリンク集](#)

[バックナンバー](#)

[サイトマップ](#)

© 2002-2016  
真言宗豊山派 金剛院

## 東京大学と5年をかけて共同開発

アガリクスの50倍、フコイダンの60倍の免疫活性効果を確認／今だけ無料で資料配布中 brolico-research.jpへ進む

